

第3回 広島肝臓プロジェクト研究センター シンポジウムのご案内

【日 時】 平成 19 年 6 月 29 日 (金)
13:30 ~ 18:30

【場 所】 広島大学廣仁会館 大会議室

<プログラム>

【開会のあいさつ】

広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

【一般演題】 13:30～16:15

セッション I 「肝細胞、再生」

座長：広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学 板本 敏行 先生
(株) フェニックスバイオ 立野 知世 先生

1. ヒト肝細胞キメラマウスを利用した肝細胞増殖停止機構の解明

立野 知世^{1) 2)}、鶴頭 理恵¹⁾、片岡 美穂¹⁾、立花 亜里^{1) 2)}、吉里 勝利^{1) 2) 3)}、
池田 一雄²⁾、伊倉 義弘³⁾、坂口 浩樹²⁾、関 守一²⁾、河田 則文²⁾、
広島県産業科学技術研究所知的クラスター創成事業¹⁾、(株) フェニックスバイオ²⁾、
広島大学大学院医歯薬学総合研究科³⁾

2. 血小板による新しい肝疾患治療法の開発

村田 聡一郎、アンドリー・ミロノヴィッチ、渡辺 基信、久倉 勝治、松尾 亮太、池田 治、
中野 順隆、高野 恵輔、川崎 卓也、橋本 育佳、柴崎 佑樹、福永 潔、大河内 信弘
筑波大学消化器外科

3. 種々の病態における肝再生不全の要因の解析

尾崎 倫孝¹⁾、芳賀 早苗²⁾、長田 忠大²⁾、井上 啓³⁾、小川 渉³⁾、村田 宏⁴⁾、岩垣 博巳⁴⁾、藤堂 省²⁾、
北海道大学大学院分子制御外科学講座¹⁾、消化器外科・一般外科学講座²⁾、
神戸大学大学院応用分子医学講座³⁾、岡山大学大学院消化器・腫瘍外科学講座⁴⁾

4. ヒト臍帯血由来間葉系幹細胞から肝細胞への分化最適条件と Wnt/Beta-catenin シグナルの意義

石井 恭子¹⁾、吉田 陽子¹⁾、権田 一絵¹⁾、坂部 友彦¹⁾、下村 崇¹⁾、村井 理絵¹⁾、
田窪 千子¹⁾、土谷 博之¹⁾、星川 淑子¹⁾、栗政 明弘¹⁾、梅沢 明弘²⁾、汐田 剛史¹⁾
鳥取大学大学院遺伝子医療学¹⁾、国立成育医療センター生殖医療研究部²⁾

セッションII 「C型肝炎」

座長：広島大学大学院分子病態制御内科学 高橋 祥一 先生
広島大学大学院分子病態制御内科学 今村 道雄 先生

5. キメラマウスを用いた肝炎ウイルス研究

今村 道雄、木村 俊之、平賀 伸彦、柘植 雅貴、高橋 祥一、茶山 一彰
広島大学大学院分子病態制御内科学

6. C型肝炎ウイルスの増殖を制御するインターフェロン誘導遺伝子と増殖制御機能の解析

井津井 康浩、坂本 直哉、中川 美奈、箆島 裕子、田坂 めぐみ、櫻井 幸、陳 正新、渡辺 守
東京医科歯科大学消化器内科、分子肝炎制御学講座

7. 肝臓特異的 siRNA デリバリーの解析

渡邊 綱正、井上 和明、平田 雄一、与芝 真彰
昭和大学藤が丘病院消化器内科

8. 新しいサイクロフィリンインヒビター DEBIO-025 を用いた慢性 C 型肝炎治療の試み

井上 和明^{1) 2)}、榎原 琢哉²⁾、渡邊 綱正^{1) 2)}、小原 道法¹⁾、与芝 真彰¹⁾
昭和大学藤が丘病院消化器内科¹⁾、東京都臨床医学総合研究所²⁾

セッションIII 「免疫、NASH」

座長：広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学 大段 秀樹 先生
広島大学大学院分子病態制御内科学 兵庫 秀幸 先生

9. 肝マクロファージによる異種移植細胞傷害機構の解明とその克服

大段 秀樹、井手 健太郎、田原 裕之、浅原 利正
広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学

10. 敗血症時における肝細胞 STAT3 を介した生存率改善とサイトカイン抑制

阪森 亮太郎、竹原 徹郎、疋田 隼人、笹川 哲、甲賀 啓介、植村 彰夫、山口 真二郎、巽 智秀、大川 和良、林 紀夫
大阪大学大学院消化器内科学

11. メダカ NASH モデルにおける病態解析

松本 俊彦¹⁾、寺井 崇二¹⁾、桑代 紳哉¹⁾、藤澤 浩一¹⁾、浜本 義彦²⁾、坂井田 功¹⁾
山口大学大学院消化器病態内科学¹⁾、山口大学工学部知能情報システム工学科²⁾

16:15 ~ 16:30 Coffee Break

【特別講演 1】 16:30 ~ 17:30

座長：広島大学大学院分子病態制御内科学 教授 茶山 一彰 先生

「C型肝炎ウイルスの基礎研究」

国立感染症研究所ウイルス第二部 部長 脇田 隆字 先生

【特別講演 2】 17:30 ~ 18:30

座長：広大名誉教授/フェニックスバイオ学術顧問 吉里 勝利 先生

「肝臓の発生と分化の分子機構」

東京大学分子細胞生物学研究所機能形成研究分野 教授 宮島 篤 先生

【おわりに】

広島大学学長 浅原 利正 先生

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費による補助を得ています
※ 研究会終了後、中会議室にて意見交換会を予定しております

